事業の基本情報

1 7 K - 2 T III IV								
事務事業名	810	つ	くば未来塾	事業				
予算科目	01-100302-18 つくば未来塾に要する経費						担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約							係名	地域連携係
							新規・継続	継続
戦略プラン							事業分類	自治事務(任意)
							事業体制	補助金(間接)
個別計画	特にな	し					事業期間	毎年度
								04質の高い教育をみんなに
	特にな	し					ana	
根拠法令等						SDGs		

事業の概要

4 714 17624	
対象	生徒、大学生、地域住民
目的	生徒の学力向上及び学習習慣の定着
概要 (取組内容)	大学生(筑波大学及び近隣地域の大学と連携)及び地域ボランティアを市内全中学校及び義務教育学校 (後期課程)へ派遣し、生徒の学習支援を行う。

コストの推移

	2 · 1 · 2 1 m/g								
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
予算額		(千円)	4,621	4, 621	4,881	5, 187	5, 187		
事	事 決算額		(千円)	2, 266	3, 072	3, 751	0	0	
業		一般財源	(千円)	859	1, 148	1, 248	0	0	
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	1, 407	1, 924	2, 503	0	0	
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0	
	人件費計		(千円)	5, 540	3, 479	3, 552	3, 552	3, 552	
人		正職員従事割合	(人)	0.80	0.50	0.50	0. 50	0. 50	
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	30.00	30.00	40. 36	40. 36	40. 36	
貝	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有	

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページでの広報、公共施設へのチラシ配布、筑波大学でのオリエンテーション
企画・立案、計画	つくば未来塾運営会議による事業運営の企画立案
実行	市民から公募する学習チューターの活動
評価、検証	学校、生徒、学習チューターに対するアンケート実施及び分析

	指標名	学習チューター派	遣延べ時間		(時間)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
,	目標値	1, 200. 0	1, 250. 0	1, 250. 0	1, 250. 0	1, 250. 0	1, 250. 0
1	実 績	1, 243. 0	885.0	906. 5	1, 380. 0	1, 497. 5	0.0
	指標の 概要	中学校に学習チュ	ーターを実際に派	遣した時間数			

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$\begin{vmatrix} 4 \end{vmatrix}$	目標値	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	年度の課への対応	積極的な広報活動により必要な学習チューター数を確保でき、効率的に学習チューターを配置することができた。
成果		学校との情報共有を適切に行いながら、目標値以上の実施延べ時間を達成することができた。質的な部分においても、生徒・学習チューターに対して実施するアンケートにおいて前年度以上の満足度を達成することができた。
課	業務	学習チューターの希望校が地区によって偏りがあり、チューターの配置を望む学校の希望に十分に沿えない状況が生じている。
題	組織、予算等	特になし
改善目標		学習チューター募集のチラシやホームページを工夫し、より効果的な広報を行うことで、より質の高いチューターや周辺地区でも活動できるチューターの確保につなげる。

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

______ 方向<u>性</u>

77 1.3177	
方向性	継続
理由	

事業の基本情報

	• • • •							
事務事業名								
予算科目	01-100501-11 社会教育振興に要する経費	担当部課 教育局生涯学習推進課						
市長公約		係名 社会教育係						
		新規・継続 継続						
戦略プラン		事業分類 自治事務(任意)						
		事業体制 職員のみ						
個別計画	特になし	事業期間 毎年度						
		04質の高い教育をみんなに						
	特になし	10人や国の不平等をなくそう						
根拠法令等		SDGs						

事業の概要

1 /1 - 100	
対象	市民
目的	つくば市における社会教育の振興を図る。
概要 (取組内容)	社会教育委員会議を開催し、市の社会教育施策に対して意見等をいただき、事業実施に反映させる。 社会教育主事を配置し、社会教育行政の充実を図る。 社会教育講座及び保育所における社会教育講座を開催する。

コストの推移

	- 2 · 1 · 2 1 E/D									
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
予算額		(千円)	2, 199	2, 199	2, 715	3, 206	3, 206			
事	事 決算額		(千円)	917	1, 386	1,894	0	0		
業費		一般財源	(千円)	917	1, 386	1,894	0	0		
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0		
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0		
	人件費計		(千円)	3, 437	2, 724	4, 155	4, 144	0		
人		正職員従事割合	(人)	0. 50	0.40	0.60	0.60	0.00		
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	8. 00	0.00	4. 50	0.00	0.00		
月月	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	 有	有	有	有		

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	名 社会教育委員会議開催数 (回))									
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度				
	目標値	0.0	0.0	0.0	2. 0	2.0	2.0				
1	実 績	0.0	0.0	0.0	2. 0	2.0	0.0				
	指標の 概要	年間開催数									

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
車→	と の は 田	レ課題					

	年度の課への対応	特になし
	成果	社会教育委員会議を2回開催し、いただいた意見等を社会教育行政に反映させることができた。 社会教育主事を2名配置したことにより、事業推進体制を強化することができた。 社会教育講座を3回(家庭の日1回、たのらく講座2回)、保育所における社会教育講座を9回(対面講座7所、動画配信2所)実施し、広く学びの場の提供を行い、社会教育の振興を図った。
課	業務	特になし
題	組織、予算等	特になし
ţ	女善目標	特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

77 1.313	
方向性	継続
理由	

事業の基本情報

1 2/4 - 37 1 1									
事務事業名	841	841 地域改善地区集会所維持管理事業							
予算科目	01-1	1005	501-	-12 地域改	で善対策に要	要する経費		担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約						係名	社会教育係		
								新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	一部委託
個別計画	特に	なし	,					事業期間	毎年度
									04質の高い教育をみんなに
	特になし						an a	10人や国の不平等をなくそう	
根拠法令等							SDGs		

事業の概要

1 /10 - 100	
対象	市民
目的	高須賀地区集会所の適正な維持管理を図り、地域の交流の場として提供する。
概要 (取組内容)	施設の維持管理及び貸出業務等の委託を行い、高須賀地区集会所の円滑な運営を図る。

コストの推移

	ー / 1 ~ / 1 匠 / 2 / 1 C /								
		項目		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	予算	算額	(千円)	3, 094	3, 094	5, 025	3, 280	3, 280	
事	: 決算額		(千円)	2, 359	3, 167	3, 196	0	0	
業費	4	一般財源	(千円)	2, 359	3, 167	3, 196	0	0	
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0	
		その他	(千円)	0	0	0	0	0	
	人作	 貴計	(千円)	1, 367	1, 362	2,072	2,072	0	
人	4	正職員従事割合	(人)	0. 20	0.20	0.30	0.30	0.00	
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
具	F)\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無	

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
_	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
J	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
0	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.
	指標の 概要						
事	業の成果	と課題					
前題	年度の課への対応	特になし					

前年度の課題への対応		特になし
	成果	施設の維持管理業務を委託したほか、設備の法定点検を実施することにより、施設管理を適切に行った。
課	業務	特になし
題	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

<u> </u>	11 11/2	1 TK						
事務事業名	843 生涯学習審議会開催事業							
予算科目	01-100501-14 生涯学習推進に要する経費						担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約							係名	生涯学習推進係
							新規・継続	継続
戦略プラン							事業分類	自治事務 (任意)
							事業体制	職員のみ
個別計画	第3次~	つく じ	ず市生涯学	2習推進基本	z計画		事業期間	毎年度
							04質の高い教育をみんなに	
							an a	10人や国の不平等をなくそう
根拠法令等							SDGs	

事業の概要

1 /1 - 100	
対象	市民
目的	市民が自己を高めるため、生涯にわたり社会のあらゆる領域で自発的、自主的に学習活動が行えるようにする。
概要 (取組内容)	生涯学習の振興に関する施策を総合的に進めるために、調査審議する審議会を開催する。

コストの推移

		· > 1 E /						
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
予算額		(千円)	340	360	453	5, 763	4, 333	
事	決算	草額	(千円)	114	300	371	0	0
業		一般財源	(千円)	114	300	371	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	п/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	4, 784	3, 567	4, 392	7, 986	11, 439
人		正職員従事割合	(人)	0.70	0. 50	0.60	1. 10	1.60
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	66. 00	102. 25	160.00	160.00
貝	I)\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページでの会議公開に関する情報発信をしている。
企画・立案、計画	令和4年度に任命した5人の市民委員が継続して参画している。
実行	市民委員や市内団体等の代表者による審議を実施している。
評価、検証	第3次つくば市生涯学習推進基本計画の適切な進捗管理を実施している。

	指標名	生涯学習審議会の					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	3. 0	3.0	2.0	2. 0	2.0	3. 0
1	実 績	3.0	3.0	2.0	2.0	2.0	0.0
	指標の 概要	つくば市生涯学習審議会を開催した回数					

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$\begin{vmatrix} 1 \\ 4 \end{vmatrix}$	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

		4t) = 1/1
前年度の課題への対応		特になし
成果		・令和4年度つくば市生涯学習推進基本計画に位置付けられた事業の評価を実施し、確実な進捗が確認できた。 ・新たな試みとして生涯学習推進に関するテーマでの講演と、それを踏まえた意見交換を講師と参加者とで実施した。
課	業務	令和6年度から、第4次つくば市生涯額h数推進基本計画策定に向けた準備が始まるため、今まで以上に委員から俯瞰的な目線で議論をしてもらい、意見を徴する必要がある。
題	組織、予算等	特になし
改善目標		委員が俯瞰的な目線で生涯学習について審議できる運営を心がける。

評価

<u> </u>		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

77 1.3177	
方向性	継続
	_
理由	

事業の基本情報

7 /14	T2 1 1									
事務事業名	844	844 つくば人間学講座								
予算科目	01-	100	501-	-14 生涯学	営推進に要	更する経費		担当部課	教育局生涯学習推進課	
市長公約								係名	生涯学習推進係	
								新規・継続	継続	
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)	
								事業体制	職員のみ	
個別計画	第3	次~	><	ば市生涯学	2習推進基本	国信		事業期間	毎年度	
									04質の高い教育をみんなに	
								an a	10人や国の不平等をなくそう	
根拠法令等								SDGs		

事業の概要

3 /10 - 1000	
対象	市民
目的	文化創造の一助及び生涯学習の推進を図る。
概要 (取組内容)	実行委員会が講座の内容・講師選定など、企画全般を行い、市と協働で講座を開催する。

コストの推移

	<u> </u>	- 1円1/						
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算	類	(千円)	739	364	375	500	500
事	決算	算額	(千円)	915	295	214	0	0
業	-	一般財源	(千円)	915	295	214	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	п/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 費計	(千円)	1, 367	1, 362	0	0	0
人		正職員従事割合	(人)	0. 20	0.20	0.00	0.00	0.00
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
月	II/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	講座参加者数			((人)	活動結果指標				
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度				
	目標値	300.0	300.0	300.0	300.0	300. 0	300.0				
1	実 績	237. 0	225. 0	274. 0	295. 0	140. 0	0.0				
	指標の 概要	令和3年度は、会	和3年度は、会場開催及びオンライン配信の合計参加者数。								

	指標名						()	
	10.02.0	R01年度		R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	 R06年度
	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
2	実 績		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要							
	指標名					(()	
		R01年度		R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
O	実 績		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要							
	指標名					(()	
		R01年度		R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
_	実績		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要							
	指標名						()	
	11 1/1 1	R01年度		R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	実 績		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要		•	·				
車主	業の成果	<u></u> ン課題						
		特になし						
前題	年度の課 への対応	1,10.20						
	成果	実行委員会	による	講座の内容検討ぐ	講師選定のもと講	降座を4回開催で	きた。	
課	業務	特になし						
既題	組織、予算等	特になし						
Ę.	女善目標	特になし						
評信	<u> </u>	1						
	i民ニーズ		3	今後も一定の市	民ニーズが見込ま	れる。		
			4	年度当初の計画	通りに事業を実施	することができた	Ćo	
市	市の関与		4	市の関与の必要	性が高い事業であ	る。		
	先度		3	市民ニーズや市	民生活への影響等	を鑑みて、継続し	して実施する必要が	ある。
方「	 句性							
	71立 方向性	継続						
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	T =						

理由

事業の基本情報

1 /K · = 1									
事務事業名	847	847 市民研修センター管理運営事業							
予算科目	01-1	01-100501-15 生涯学習施設管理に要する経費						教育局生涯学習推進課	
市長公約							係名	社会教育係	
							新規·継続	継続	
戦略プラン							事業分類	自治事務 (任意)	
							事業体制	指定管理者	
個別計画	特にた	なし					事業期間	毎年度	
								04質の高い教育をみんなに	
	特に力	なし					an a	10人や国の不平等をなくそう	
根拠法令等							SDGs		

事業の概要

T/N 1/2	
対象	市民
目的	市民及び市内の企業に勤務する者に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び 文化の向上に寄与する。
概要 (取組内容)	利用者が快適に施設を利用できるよう、指定管理者制度を活用し、適切な施設の維持管理、施設の特性を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。

コストの推移

		-> 1E D						
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算	算額	(千円)	21, 420	21, 420	28, 896	28, 896	28, 896
事	決算	算額	(千円)	21, 420	23, 052	28, 896	0	0
業		一般財源	(千円)	21, 420	23, 052	28, 896	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 	(千円)	3, 417	2, 043	2,072	0	0
人		正職員従事割合	(人)	0. 50	0.30	0.30	0.00	0.00
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
具	11/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	施設利用人数			(人)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	35, 000. 0	35, 000. 0	35, 000. 0	35, 000. 0	35, 000. 0	35, 000. 0
1	実 績	35, 003. 0	12, 888. 0	14, 558. 0	21, 592. 0	25, 362. 0	0.0
	指標の 概要						

	指標名				()	
	111/12/21	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要	<u>'</u>		'		<u>'</u>	
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
_	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
車	業の成果	- ン 課題					

	年度の課への対応	特になし
成果		新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、浴室の入浴時間と人数制限を解除し従来どおりの利用に戻した。施設の花の植替えを等を地域の方が積極的に行うなど、地域住民と良好な関係を築き地域の活性化に取り組むことができた。
課	業務	特になし
題	組織、予算等	特になし
ġ	女善目標	特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

4.7.0 至 1.1h th									
事務事業名	848	848 さくら民家園施設管理事業							
予算科目	01-1	100	501	-15 生涯学	智施設管理	星に要する紅	圣費	担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約								係名	社会教育係
								新規·継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	一部委託
個別計画								事業期間	毎年度
									04質の高い教育をみんなに
								an a	10人や国の不平等をなくそう
根拠法令等								SDGs	

事業の概要

1 /1 - 1/2	
対象	市民
目的	郷土に対する理解を深める環境・憩いの環境を提供し、伝統文化の継承に寄与する。
概要 (取組内容)	日常的な清掃管理及び来場者への対応等の委託と団体利用者・催事等への貸出し、ひな人形の展示等を行う。なお、移築当時の建築確認申請及び検査済証の確認がとれず、令和5年(2023年)11月1日から屋内利用を停止した。

コストの推移

	· 2 · 1 · 9] [1/2]							
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
予算額		算額	(千円)	6, 442	7, 042	8, 169	4, 916	4, 916
事	事 決算額		(千円)	5, 711	6, 430	7,086	0	0
業		一般財源	(千円)	5, 711	6, 430	7, 086	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	2,734	2, 724	2,083	2,072	2, 072
人		正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.30	0.30	0.30
件費		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	4. 50	0.00	0.00
月月	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	来園者数			((人)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	7, 000. 0	7, 000. 0	7, 000. 0	7,000.0	7, 000. 0	7, 000. 0
1	実 績	7, 705. 0	4, 058. 0	5, 122. 0	7, 040. 0	5, 541. 0	0.0
	指標の 概要						

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$ _4$	目標値	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

T-/	F X VIXX C IKE				
前年度の課題への対応		特になし			
成果		業務委託等により、清掃や植栽管理、法定点検等を行い、施設の適切な管理ができた。11月1日以降、建物内部の利用を停止したが、外観の見学、園内での休憩はこれまでどおり行ったことで外観からつくば地方の伝統的な農家住宅の佇まいや構造を学ぶ機会を提供することができ、来場者数が大きく減少することはなかった。			
課	業務	・さくら民家園の視認性を高めるため、景観を保ちながら樹木の剪定等を行う必要がある。・アンケートの結果から、憩いの場を積極的に提供する施策を検討する必要がある。			
題	組織、予算等	特になし			
改善目標		引き続き利用者アンケートを実施し、魅力度アップのための方策、管理方法の検討・準備を行う。			

評価

H 1 IIII		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

7 717	14 15:							
事務事業名	849	849 青少年健全育成事業						
予算科目	01-100501-17 青少年健全育成に要する経費					担当部課	教育局生涯学習推進課	
市長公約						係名	青少年教育係	
							新規・継続	継続
戦略プラン							事業分類	自治事務 (任意)
							事業体制	職員のみ
個別計画							事業期間	毎年度
								04質の高い教育をみんなに
	茨城県青	少年	の健全育	が成等に関す	 トる条例、 [^]	つくば市青	an a	10人や国の不平等をなくそう
根拠法令等	少年相談						SDGs	

事業の概要

1.71	
対象	青少年
目的	未来のつくば市を担う青少年が、健やかにたくましく成長できるようにする。
概要 (取組内容)	青少年相談員が中心となり、学校や青少年育成団体等と連携し、青少年の非行防止や青少年育成の各種事業を展開する。

コストの推移

		· - 1ED						
項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	予算額		(千円)	2,778	2, 761	3, 161	3, 168	3, 168
事	決算	節額	(千円)	1,008	1, 913	1, 896	0	0
業		一般財源	(千円)	1,008	1, 913	1,896	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	п/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 	(千円)	2,050	4, 767	2,072	2,072	2,072
人		正職員従事割合	(人)	0. 30	0.70	0.30	0.30	0.30
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
月月	11/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及びチラシでの情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

111	ル・> 1 正心	,							
	指標名	あいさつ・声かけ運動実施数 (回) 活動結果指標							
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度		
4	目標値	120.0	120.0	120. 0	120.0	3, 000. 0	3, 000. 0		
1	実 績	120.0	609.0	1, 368. 0	2, 878. 0	3, 212. 0	0.0		
	指標の 概要	青少年相談員各支部単位で実施したあいさつ・声かけ運動実施数を目標値としていたものを、令和5年度から、青少年相談員個人で実施したあいさつ・声かけ運動実施数に変更							

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
_	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
Ī		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
ŀ	10000	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
ŀ	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Ī	指標の 概要	<u>'</u>	-	<u> </u>	<u> </u>	<u>'</u>	
	指標名				()	
ŀ	111/02/1	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度		R06年度
•	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実績	0.0	0.0	0. 0	0.0	0. 0	0.0
Ī	指標の 概要	'	1	<u> </u>	'	<u>'</u>	
 事第	との成果	 と課題					
	年度の課への対応	_					
	成果		た。 支部長会議を実施〕	青少年の健全育成等 し、各支部と情報共 の登録活動など青	有及び連携を図る	ことができた。	
課	業務	_					
題	組織、予算等	_					
改	(善目標	_					
評侃	<u> </u>						
	民ニーズ	3	今後も一定の市	万民ニーズが見込ま	れる。		

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続

理由	

事業の基本情報

1.76.5	117 11/2							
事務事業名	850 ₽	850 青少年を育てるつくば市民の会補助						
予算科目	01-100501-17 青少年健全育成に要する経費					担当部課	教育局生涯学習推進課	
市長公約					係名	青少年教育係		
					新規・継続	継続		
戦略プラン						事業分類	自治事務 (任意)	
						事業体制	補助金(直接)	
個別計画						事業期間	毎年度	
							04質の高い教育をみんなに	
	つくば市青少年を育てるつくば市民の会補助金交付要				an a	10人や国の不平等をなくそう		
根拠法令等	綱				SDGs			
	, .							

事業の概要

1 /1 - 100	
対象	青少年育成団体
目的	市民総ぐるみ運動による青少年育成団体を支援し、青少年健全育成の推進を図ることを目的とする。
概要 (取組内容)	青少年の健全育成事業を展開する団体(青少年を育てるつくば市民の会)に対し補助金を交付し、青少年の健全育成活動の推進を図る。

コストの推移

		· - 1ED						
項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	予算額		(千円)	2, 015	2, 015	2,015	2,015	2, 015
事	決算	節額	(千円)	2,015	2, 015	2, 015	0	0
業		一般財源	(千円)	2,015	2, 015	2, 015	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 貴計	(千円)	1, 367	3, 405	1, 382	1, 382	1, 382
人		正職員従事割合	(人)	0. 20	0. 50	0. 20	0. 20	0. 20
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
具	11/	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等での情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

111	W - 1E-15	<u> </u>										
	指標名	「家庭の日」絵画・ポスターコンクール来場者数 (人)										
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度					
	目標値	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0	400.0					
1	実 績	381. 0	64.0	141. 0	215. 0	204. 0	0.0					
	指標の 概要	令和2年度から学	校での夏休みの課	題に含まず、各個	人で参加する形態	こなっている。						

	指標名					()		
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年月	复	R05年度	R06年度	
2	目標値	0.0	0.	0	0.0	0.0	0.0		0.0
2	実 績	0.0	0.	0	0.0	0.0	0.0		0.0
	指標の 概要								
	指標名					()		
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年月	支	R05年度	R06年度	
	目標値	0.0	0.	0	0.0	0.0	0.0		0.0
3	実 績	0.0	0.	0	0.0	0.0	0.0		0.0
	指標の 概要								
	指標名					()		
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年月	复	R05年度	R06年度	
4	目標値	0.0	0.	0	0.0	0.0	0.0		0.0
4	実 績	0.0	0.	0	0.0	0.0	0.0		0.0
	指標の 概要								
	指標名					()		
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年月	复	R05年度	R06年度	
_	目標値	0.0	0.	0	0.0	0.0	0.0		0.0
5	実 績	0.0	0.	0	0.0	0.0	0.0		0.0
	指標の 概要								
事業	との成果	と課題							
	年度の課								
	への対応								
		 青少年を育てる	 つくば市民の会か	 ぶ行う活動の支援	 爱を図り、地域社	 ±会で青		 する機運	
	成果	を高めることが							
		_							
	業務								
課題		_							
	組織、 予算等								
									\dashv
₽,	女善目標	_							
評信	<u> </u>								
市	民ニース	× :	3 今後も一定の	市民ニーズが見	込まれる。				
進捗状況			4 年度当初の計	・画通りに事業を	実施することか	ぶできた。)		
市	の関与	4	市の関与の必	要性が高い事業	である。				
	先度		市民ニーズや	市民生活への影	響等を鑑みて、	継続し	て実施する必要が	ある。	
 方向	 句性								
	71室 方向性	継続							

理由

事業の基本情報

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
事務事業名	851 つ	The Market of th							
予算科目	01-100501	-17 青少年	健全育成に	こ要する経費	ŧ	担当部課	教育局生涯学習推進課		
市長公約						係名	青少年教育係		
						新規・継続	継続		
戦略プラン						事業分類	自治事務 (任意)		
						事業体制	補助金(直接)		
個別計画						事業期間	毎年度		
							04質の高い教育をみんなに		
	つくば市子ども会育成連合会補助金交付要綱					an a	10人や国の不平等をなくそう		
根拠法令等						SDGs			

事業の概要

4 714 1702	
対象	青少年育成団体
目的	つくば市子ども会育成連合会の運営の安定化を図り、その発展に寄与する。
概要 (取組内容)	つくば市子ども会育成連合会に対し補助金を交付し、団体の運営の安定化を図る。

コストの推移

		- 2 1 正 1 / 2						1
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算	章額	(千円)	1, 240	1, 240	1, 240	1,240	1, 240
事	決算	算額	(千円)	11	168	690	0	0
業	4	一般財源	(千円)	11	168	690	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	FJ/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 	(千円)	684	1, 362	1, 382	1, 382	1, 382
人		正職員従事割合	(人)	0. 10	0.20	0. 20	0. 20	0. 20
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
月月	17/	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ等での情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

3 H 1	示り71年化	9					
	指標名	会員数			(人)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	2, 300. 0	1, 300. 0	1, 300. 0	1, 300. 0	1, 300. 0	1, 300. 0
1	実 績	1, 312. 0	1, 180. 0	917. 0	866. 0	842.0	0.0
	指標の 概要						

	指標名	交付件数						(件)	活動結果指標
		R01年度		R02年度	R03年度		R04年度		R05年度	R06年度
2	目標値	0.	_	0.0		0.0		0.0	4. 0	4.0
	実 績	0.		0.0		0.0		0.0	4. 0	0.0
	指標の	令和5年度から記	追加							
	概要								\	
	指標名	DO1 左 座		DOO欠 座	D00左连		DO 4左 庄	() DOE在底	DOC 左 座
	目標値	R01年度 0.	0	R02年度 0.0	R03年度	0.0	R04年度	0.0	R05年度 0.0	R06年度 0.0
3	実績	0.		0.0		0. 0		0. 0	0. 0	0.0
	光 指標の 概要	0.	<u> </u>	0.0		0.0		0.0	υ. υ	0.0
	指標名							()	
		R01年度		R02年度	R03年度		R04年度		R05年度	R06年度
4	目標値	0.	0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.	0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0
	指標の 概要									
	指標名							()	
		R01年度		R02年度	R03年度		R04年度		R05年度	R06年度
5	目標値	0.		0.0		0.0		0.0	0.0	0.0
	実 績 指標の	0.	0	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0
	概要									
事	美の成果	と課題								
	年度の課 への対応									
	成果	異年齢の集団(一翼を担えた。		6仲間づくり活動	動や、地域の係	民護者	と共に行う活	 舌動を	ど通して、地域コミ	ュニティ構築の
課	業務	_								
題	組織、予算等	-								
- P	文善目標	_								
評価	<u> </u>	1								
	市民ニーズ			今後も一定の下	片民ニーズが見	込ま	れる。			
進捗状況			4	年度当初の計画	画通りに事業を	·実施	することがて	ぎきた	-0	
市	の関与		4	市の関与の必要	要性が高い事業	であ	る。			
優	先度		3	市民ニーズや下	方民生活への影	響等	を鑑みて、総	継続し	て実施する必要が	ある。
方向	句性						· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
	方向性	継続								

理由

事業の基本情報

4 / 14 - 11	1. K · Zi · III K								
事務事業名	852	852 二十歳の集い開催事業(旧:成人式開催事業)							
予算科目	01-1	01-100501-17 青少年健全育成に要する経費					担当部課	教育局生涯学習推進課	
市長公約								係名	青少年教育係
								新規·継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務(任意)
								事業体制	職員のみ
個別計画								事業期間	毎年度
									04質の高い教育をみんなに
								an a	10人や国の不平等をなくそう
根拠法令等								SDGs	

事業の概要

対象	つくば市にゆかりのある二十歳を迎える方
目的	次世代のつくば市を担う二十歳の方の門出を祝い、社会の一員としての自覚と責任感を促す機会とする。
概要 (取組内容)	式典内容を企画し、当日の運営に参画する二十歳の方による実行委員会を立ち上げる。 広報紙、ホームページへの掲載、対象者への案内通知などの広報活動を行う。

コストの推移

	- 2 · 1 · 2 1E49								
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	予算	算額	(千円)	5, 027	6, 418	7,010	6, 960	6, 960	
事	決算	算額	(千円)	7,870	5, 736	5, 604	0	0	
業	-	一般財源	(千円)	7,870	5, 736	5, 604	0	0	
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0	
	п/	その他	(千円)	0	0	0	0	0	
	人作	 貴計	(千円)	4, 784	6, 810	6, 907	6, 907	6, 907	
人		正職員従事割合	(人)	0.70	1.00	1.00	1.00	1.00	
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
月	II/	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無	

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報誌等での情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	参加者数			((人)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1, 500. 0	1, 500. 0	1, 500. 0	1, 500. 0	1, 900. 0	1, 900. 0
1	実 績	1,844.0	0.0	1,621.0	1,828.0	1, 830. 0	0.0
		令和2年度は中止 令和5年度から、					

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名	_			()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
'	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
事 >	生の中田	し無題		·		·	

前年度の課題への対応		電子による事前参加申請制の導入及び並木中等と茗溪学園の参加時間帯の分散を実施したことにより、入場券を持たない市外在住者の受付を円滑に行うことができた。
	成果	二十歳の方々で実行委員会を組織し、自ら企画・運営する二十歳の集いを開催することができた。 式典中も、二十歳という自覚をもった行動により、滞りなく式典を進行することができた。
課	業務	
題	組織、 予算等	
改善目標		

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
理由	

事業の基本情報

事務事業名	853 青少年体験学習事業							
予算科目	01-100	501	-17 青少年	健全育成に	工要する経費		担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約							係名	青少年教育係
							新規・継続	継続
戦略プラン							事業分類	自治事務(任意)
							事業体制	職員のみ
個別計画							事業期間	毎年度
								04質の高い教育をみんなに
							an a	10人や国の不平等をなくそう
根拠法令等							SDGs	

事業の概要

1 /1 - 100	
対象	青少年
目的	青少年に自主的な活動や体験の場を提供し、青少年の自己肯定感、自己有用感及び社会力の育成を図る。
概要 (取組内容)	市内在住在学の中高生を対象に企画募集し、青少年を中心とした地域交流・多世代間交流の体験学習を実施する。また、青少年の健全育成に資する団体の自主活動を支援、促進する。

コストの推移

		45 1E45						
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
予算額			(千円)	1, 208	1, 208	1,070	924	924
事	事 決算額		(千円)	294	393	375	0	0
業		一般財源	(千円)	294	393	375	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	E/C	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	2,734	4, 086	2,072	2,072	2, 072
人		正職員従事割合	(人)	0.40	0.60	0.30	0.30	0.30
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
貝	1/\	会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、チラシ等での情報発信
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

7	711 12 12									
	指標名	青少年体験学習事業参加者数 (人)								
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			
1	目標値	160. 0	160.0	24. 0	160.0	160. 0	160.0			
1	実 績	137. 0	24. 0	0.0	108.0	126. 0	0.0			
	指標の 令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を講じた上で、参加者を絞って実施予定としたが、 概要 新型コロナウイルス感染症蔓延防止措置発令のため、事業を中止した。									

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
) J	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$ _4$	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
Э	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
事業	事業の成果と課題						
			•	•			

<u> </u>	K V J PA J C	
前年度の課題への対応		
	成果	青少年の健全育成を図り、子どもたちが生きる力を育む上で有益な体験事業への参加を促進し、社会力を育成することができた。
課	業務	
題	組織、予算等	
改善目標		学校外における体験活動の有用性についてさらなる周知を図るとともに、事業終了後におけるフィードバックを行うことで、各生徒の取組や成長を学校に理解してもらい、認知度向上及び参加者の増加を図る。

____ 評価

H 1 IIII		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性	継続
	_
理由	

事業の基本情報

事務事業名	870 障害者の生涯学習支援事業							
予算科目	01-100	501	-14 生涯学	営推進に要	要する経費		担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約							係名	生涯学習推進係
							新規・継続	新規
戦略プラン							事業分類	自治事務(任意)
							事業体制	職員のみ
個別計画	第3次~	つく	ば市生涯学	と習推進基本			事業期間	毎年度
								04質の高い教育をみんなに
							ana	10人や国の不平等をなくそう
根拠法令等							SDGs	

事業の概要

于人 少 例 久	
対象	障害者
目的	障害者の生涯にわたる多様な学びの充実を図る。
概要 (取組内容)	第3次つくば市生涯学習推進基本計画の施策の柱である「誰一人取り残さない生涯学習」という観点から、文化芸術やスポーツなど、障害者へ多様な学びの機会を提供する。

コストの推移

		-> 1E D						
項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	予算	章額	(千円)	237	291	388	396	396
事	決算	算額	(千円)	7	100	14	0	0
業		一般財源	(千円)	7	100	14	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 貴計	(千円)	2,050	1, 362	2, 085	0	0
人		正職員従事割合	(人)	0.30	0. 20	0.30	0.00	0.00
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	5. 00	0.00	0.00
月月	11/	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

	指標名	講座参加者の満足	度		((%)	成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
1	実 績	0.0	100.0	100.0	100.0	94.0	0.0
	指標の 概要	アンケート調査で	、講座内容に満足	/どちらかといえば	ボ満足と回答した人	の割合	

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
車→	と の は 田	レ課題					

	年度の課への対応	他部署と連携し、保健師を配置して安全に事業を推進した。
	成果	市内の障害者教育機関と協働し、参加者がやってみたいことを事前調査し、参加者の意向を踏まえながら 事業を実施した。(卓球バレー教室)
課	業務	特になし
題	組織、予算等	特になし
Ş	女善目標	特になし

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

<u> </u>	
方向性	継続
理由	
生田	

事業の基本情報

1/10 - 22 11								
事務事業名	095	社会に	力講座事	業				
予算科目	01-100501-14 生涯学習推進に要する経費						担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約				係名	生涯学習推進係			
							新規・継続	新規
戦略プラン							事業分類	自治事務(任意)
							事業体制	一部委託
個別計画							事業期間	毎年度
							an a	
根拠法令等							SDGs	

事業の概要

1 /1 - 100	
対象	申込希望者
目的	第3次つくば市生涯学習推進基本計画の施策の柱である、社会力を持った人材の育成をするため、講演会や実習等を実施する講座を開催する。
概要 (取組内容)	社会力を持った人材の育成について、社会力への気付き、社会力を持った人材を活かしていくコーディネーターの育成等多様な観点から講座等を展開していく。

コストの推移

		45 1E45						
項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	予算	草額	(千円)	500	873	910	1,037	1, 037
事	決算	草額	(千円)	602	655	716	0	0
業		一般財源	(千円)	602	655	716	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	‡費計	(千円)	3, 417	2, 136	2,851	3, 515	4, 205
人		正職員従事割合	(人)	0. 50	0.30	0.40	0. 50	0.60
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	38. 00	36.00	25. 00	25. 00
月	I)\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	講師となる市民団体との講座実施前の打合せ
実行	参加者へのアンケート実施
評価、検証	_

	指標名	講座開催数			((□)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	4.0	4.0	4. 0	4.0
1	実 績	0.0	0.0	4.0	5. 0	5. 0	0.0
	指標の 概要						

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
0	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	K V PAZIC	
	年度の課 への対応	令和5年度は、実際の社会力をいかして活躍する市民活動団体の活動に参加して学ぶ「1日活動体験参加」を講座に盛り込んだ。
	成果	実践的な内容による社会力の育成の端緒を開くことができた。 講座をスポットではなくシリーズで参加するよう促した成果として、参加者間のネットワーキングを行う ことができた。
課	業務	内容を実践的で深く学ぶ内容にした結果、多くの参加者を集めることが難しかった。
題	組織、予算等	
改善目標		社会人に共通で役立つスキルを実践的に学ぶというエッセンスを濃くして、「市民活動」「ボランティア」「地域貢献」といった事項に関するライト層に講座を訴求し、参加者増につなげる。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

77 IPI III	
方向性	継続
	_
理由	

事業の基本情報

<u> </u>	14 17:							
事務事業名	101	101 コミュニティ・スクール導入事業						
予算科目	01-10	050	1-20 コミュ	ニティ・フ	スクールに要	要する経費	担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約							係名	地域連携係
							新規・継続	継続
戦略プラン							事業分類	自治事務 (任意)
							事業体制	職員のみ
個別計画							事業期間	毎年度
								04質の高い教育をみんなに
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律				見する法律		an a	
根拠法令等							SDGs	

事業の概要

対象	つくば市内小中一貫型小学校、中学校及び義務教育学校
目的	保護者や地域住民が学校運営に参画し、学校と地域が力を合わせることによって、それぞれの立場で主体的に子供たちの成長を支えていく学校づくりを進めるためコミュニティ・スクールを段階的に導入する。
概要 (取組内容)	1つの学園に対し3年度のスケジュールで導入を行っていく。初年度は立ち上げ準備を行い、2年度目に準備組織としてコミュニティ・スクール推進会議を開催し、3年度目にコミュニティ・スクール協議会を設置し本格的な運営を行っていく。令和7年度末を目途に市内全学園での導入を目指す。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	予算	類	(千円)	0	692	5, 369	9, 930	9, 930
事	N.I. Solin store		(千円)	0	242	1,744	0	0
業費	-	一般財源	(千円)	0	242	1,744	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	п/	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 貴計	(千円)	0	2, 724	10,850	10, 850	10, 850
人		正職員従事割合	(人)	0.00	0.40	1. 50	1. 50	1. 50
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	201. 80	201. 80	201. 80
月	11/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	 有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページでの情報発信、事業理解のための動画作成と公開、委員等向け研修会 の開催
企画・立案、計画	コミュニティ・スクール協議会における地域学校協働活動の検討
実行	地域の保護者や住民を含めての説明会や会議を開催
評価、検証	説明会及び研修会後のアンケートの実施

	指標名	導入学園数			(学園)	成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	0.0	0.0	1. 0	9. 0	15. 0
1	実 績	0.0	0.0	0.0	1. 0	9. 0	0.0
	指標の 概要	コミュニティ・ス	クール協議会及び	コミュニティ・ス	クール推進会議が	設置された学園数	

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1,	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
_	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	14 1//4/14	
前年度の課題への対応成果		コミュニティ・スクール協議会及び推進会議開催前の事前打合せにおいて、学園ごとの課題を聞き取った 上で会議運営についてアドバイスするとともに、会議当日にも職員が出席し、伴走支援を行った。また、 各学園における会議運営に必要な予算を計上し、予算令達を実施することができた。
		令和 5 年度は法に定める「コミュニティ・スクール協議会」を 1 学園(吾妻学園)、協議会の前段階として「コミュニティ・スクール推進会議」を 8 学園(大穂、豊里、洞峰、桜、竹園、茎崎、春日、秀峰筑波)において $3\sim4$ 回開催し、計画どおり順調に導入することができた。また、その他の学園に対しても事業に関する説明会や研修会を開催することで、次年度以降を見据えた事業の展開を図ることができた。
課	業務	地域住民への周知や管理職以外の教職員への制度理解の促進が課題である。また、地域の実情や導入の段階に応じて様々な学園ごとの課題に寄り添った教育局による伴走支援が求められる。
題	組織、予算等	コミュニティ・スクールへの正しい理解とコミュニケーション能力の高い職員が求められ、また、導入学 園数が多くなることに応じて事務量が増加し、内容が複雑化することが予想されるため、予算の増額や人 員の確保に努める必要がある。
Ę,	女善目標	出前講座の活用や、教職員対象の説明会を通じて、制度の周知を図る。また、地域学校協働活動に向けた情報収集と学園間での情報共有を行うとともに、各学園で必要な予算のニーズを精査し、効果的な予算編成につなげる。

評価

<u> </u>		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

<u>方向性</u>

方向性	拡大・拡充
理由	令和7年度末までの全学園への導入完了に向け、事業は拡大・拡充していく。

事業の基本情報

1.76.27.1.1	14 164								
事務事業名	845 出前講座事業								
予算科目	01-1	100	501	-14 生涯学	営推進に要	要する経費		担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約								係名	生涯学習推進係
	II -2	2	1	生涯にわ	たる学びの	場の推進		新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	職員のみ
個別計画	第3次つくば市生涯学習推進基本計画						事業期間	毎年度	
1四万月 四								04質の高い教育をみんなに	
								an a	10人や国の不平等をなくそう
根拠法令等								SDGs	

事業の概要

1 /1 - 100	
対象	市民
目的	生涯学習の推進を図ると共に、市民の市政に関する理解を深め、もってまちづくりへの参加の促進に寄与する。
概要 (取組内容)	市民の学習会や集会等に市職員が講師として出向き、市の業務や施策に関する講座等を行う。 ※つくば市未来構想戦略プラン II - 2 - ②の指標として「出前講座参加者数」を位置付けている。

コストの推移

		45 1E/15						
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算額			37	94	145	473	473
事	決算	算額	(千円)	5	26	98	0	0
業費		一般財源	(千円)	5	26	98	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 貴計	(千円)	1, 367	1, 362	2, 795	2, 763	2, 763
人		正職員従事割合	(人)	0. 20	0. 20	0.40	0.40	0.40
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	13.00	0.00	0.00
貝	I)\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページでの情報発信及びつくば市公共施設におけるポスターやガイドブック の設置
企画・立案、計画	
実行	_
評価、検証	講座受講者に向けたアンケート実施

7 [71 - 1 E D						
	指標名	出前講座参加者数	(((人)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4, 500. 0	5, 500. 0	4, 900. 0	5, 100. 0	5, 300. 0	5, 500. 0
1	実 績	4, 080. 0	562.0	941. 0	1, 578. 0	4, 503. 0	0.0
	指標の 概要)誰もがつながり役 今年度実績を踏ま			別施策の指標「出稿 た目標値を従前の値	前講座の参加者を 直に戻します。

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

	年度の課への対応	・工業団地立地企業等にアンケート調査を行い、結果をまとめた。 ・全庁的に新規講座の提供を呼びかけた。
	成果	・対前年度に対して大きく受講者数を増やすことができた。
課	業務	引き続き生産世代の企業や団体等による活用を推進していく必要がある。
題	組織、予算等	
Ę,	文善目標	積極的に広報活動を展開し、利用回数を増やしていく。

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性	継続
理由	_
<u>Æ</u> m	

事業の基本情報

1. W \(\text{SE}\) 11 14									
事務事業名	846 生涯学習指導者情報提供事業								
予算科目	01-100501-14 生涯学習推進に要する経費							担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約								係名	生涯学習推進係
	II -2	2	1	生涯にわ	たる学びの	場の推進		新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	職員のみ
個別計画	第3	次~	><	ば市生涯学	と習推進基本	国信		事業期間	毎年度
									04質の高い教育をみんなに
								an a	10人や国の不平等をなくそう
根拠法令等							SDGs		

事業の概要

対象	市民
目的	市民の生涯学習意欲を満たす。地域全体が持つ能力を活かした学習機会の充実を図る。
概要 (取組内容)	生涯学習指導者情報の登録を行い、市民の要望に応じた生涯学習指導者情報を提供をする。

コストの推移

		-> 1E D						
	項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算額		(千円)	0	0	96	191	191
事	: 決算額		(千円)	0	0	58	0	0
業費		一般財源	(千円)	0	0	58	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人作	 	(千円)	684	1, 362	1, 397	1, 382	1, 382
人		正職員従事割合	(人)	0. 10	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	6.00	0.00	0.00
貝	II/C	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページによる指導者情報の発信
企画・立案、計画	指導者からの打診による登録者リストの登録
実行	_
評価、検証	_

	指標名	情報提供数			(件)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	60. 0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
1	実 績	64. 0	45.0	10.0	35. 0	23. 0	0.0
	指標の 概要	電話やメール等で	紹介した生涯学習	指導者の件数			

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

	年度の課への対応	7月と3月にホームページやSNSを使った広報活動を集中的に実施した。
成果		・ホームページの内容を、教えたい人教わりたい人がダイレクトに情報にアクセスできるよう構成や講師のカテゴリー等を見直した。
課	業務	現在の指標値に関して、ホームページから講師の独自のSNSのホームページにアクセスして連絡をとるケースが想定されるなど、正しく事業成果を計測できるかに課題がある。
題	組織、予算等	
ţ	女善目標	・引き続き情報提供の見せ方や内容を改善するとともに、広報活動を積極的に展開する。 ・ホームページビュー数や登録講師数など適切な成果指標を検討し、必要に応じて入れ替える。

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

<u> </u>	
方向性	継続
	_
理由	

事業の基本情報

<u> </u>	大・・ 二・ 								
事務事業名	806 つくば科学出前レクチャー事業								
予算科目	01-1	1005	501	-16 科学教	有推進に要	更する経費		担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約	31-2							係名	生涯学習推進係
	III -2	1	3	科学教育の	の推進と批	判的思考の	育成	新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務(任意)
								事業体制	一部委託
個別計画	特に	なし	,					事業期間	毎年度
									04質の高い教育をみんなに
	特に	なし	,					an a	
根拠法令等								SDGs	

事業の概要

対象	児童・生徒、研究機関の研究員
目的	最先端科学技術都市としての特性をいかし、大学や研究機関等の協力を得て、科学教育の推進を図る。
概要 (取組内容)	学校等の希望により、事前に登録した研究機関の研究員等と連絡調整し、現役研究員等を専門テーマの講師として派遣する。

コストの推移

		項目		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
			(千円)	202	142	414	352	352
事	N.I. delin stare		(千円)	1	39	159	0	0
業費		一般財源	(千円)	1	39	159	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	2,734	2, 824	2,866	2,848	2, 848
人		正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	40. 75	42. 50	35. 00	35. 00
月月	10/	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	_
企画・立案、計画	市内研究機関等から講座及び講師の提供を受け、講座一覧を作成
実行	市内研究機関等が独自に工夫し、児童生徒に講座を実施
評価、検証	_

111	化 へつ 1 田小	y					
	指標名	講座参加者数			(人)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	1, 200. 0	1, 200. 0	1, 200. 0	1, 200. 0	1, 200. 0	1, 200. 0
1	実 績	793. 0	0.0	61. 0	817. 0	1, 657. 0	0.0
	指標の 概要	(個別施策Ⅲ-2-	①個性を伸ばし未	来を切り拓く力を	育む学校教育の創	出)	

	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$ _{2}$	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$\begin{vmatrix} 1 \\ 4 \end{vmatrix}$	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1 4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要	1 1 AM 07					

	年度の課への対応	講座回数の実績を増やすため、新たに学校長会での周知を複数回行い積極的な広報活動を展開した。
	成果	令和5年度は、実施回数が21回になり、前年度と比較して大幅に増やすことができた。
課	業務	学校と研究機関等の間に入って綿密な調整を行うため、業務負荷が多くなりがちである。
題	組織、予算等	
ţ	女善目標	業務フローの整理や円滑に実施できる業務上の手続きの工夫をする。

<u>評価</u>

H 1 111111		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性	継続
理由	
- 理田 -	

事業の基本情報

7 / 1 - 1									
事務事業名	807	807 つくばちびっ子博士事業							
予算科目	01-1	100	501	-16 科学教	な育推進に要	要する経費		担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約								係名	生涯学習推進係
	III -2	1	3	科学教育	の推進と批	判的思考の	育成	新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	一部委託
個別計画								事業期間	毎年度
									04質の高い教育をみんなに
								an a	
根拠法令等								SDGs	

事業の概要

対象	全国の小中学生
目的	最先端科学技術都市としての特性を生かし、大学や研究機関の協力を得て、子どもたちに科学技術に触れさせ、楽しみながら科学への興味や関心を高めさせる。
概要 (取組内容)	市内の協力研究機関等に子ども達が専用のパスポートを持参し各施設を見学するか、つくば市ホームページから動画を視聴し、確認クイズの正解を記入する。見学期間(夏休み)終了後、提出された専用パスポートの確認クイズ正解数により、最優秀ちびっ子博士・優秀ちびっ子博士・ちびっ子博士に認定し、記念品を授与。対象者は、つくば市内の在住・在学の小中学生。令和5年度は、小中学生の学外の学びを充実するため、パスポートのデジタル化に関する実証事業を実施する。

コストの推移

		-> 1E D						
項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
	予算額		(千円)	2, 023	2, 249	10, 195	16, 634	13, 037
事	決算	算額	(千円)	1,899	2, 201	7, 109	0	0
業		一般財源	(千円)	1,899	2, 201	7, 109	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	即人	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	3, 417	3, 077	4, 751	3, 964	3, 273
人		正職員従事割合	(人)	0. 50	0.40	0.60	0. 50	0.40
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	144. 25	250.00	210.00	210.00
具	II/	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	_
企画・立案、計画	市内研究機関等からの応募により、ちびっ子博士見学施設や動画公開施設を決定
実行	市内研究機関等の運営により、期間中の公開やイベントを実施
評価、検証	参加者へのアンケート実施

	指標名	パスポート提出者	数(デジタルパス	ポート含む)	((人)	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4, 480. 0	4, 500. 0	5, 000. 0	6, 000. 0	6, 000. 0	6, 000. 0
1	実 績	5, 268. 0	0.0	2, 335. 0	2, 112. 0	3, 002. 0	0.0
指標の つくばちびっ子博士パスポート (デジタルパスポート含む) を提出した人数 概要							

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
2	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

ずき	美の放果で	
前年度の課題への対応		・デジタルスタンプラリーを実証的に実施した。・動画撮影及び編集を外部委託した。
	成果	・つくばちびっ子博士は、現地見学者数が40,795人、パスポート提出者数が2,237人、デジタルスタンプラリー参加者数が765人であった。 ・デジタルスタンプラリーは、アンケートから、学習者用端末で現地の写真をとったり、メモをとったりし、それを使って調べ学習を行う姿がうかがえ、紙のパスポートではできない学習活動が生まれた。
課	業務	・デジタルスタンプラリーの参加者数を伸ばしていくこと。・デジタルスタンプラリーの実施データの教育現場での活用を具体化していくこと。
題	組織、予算等	・動画の外部委託を行っても、全40機関が関わる行事を短期間で多量に行う事業であるため、業務負担が大きい。イベント期間を過ぎてもパスポートの採点等に人と時間が割かれている。
Ş	女善目標	・来年度のつくばちびっ子博士は紙とデジタルの一体的活用を行い、参加者数を増やすとともに学校現場と協力してデータを活用した取組を実施できるようにする。 ・業務のスリム化やデジタル化の推進により、業務負担の軽減を目指す。

評価

<u> </u>		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

77 IPI III	
方向性	継続
	_
理由	

事業の基本情報

于人**/ 全汗·1	17 TV								
事務事業名	808 つくば科学フェステイバル事業								
予算科目	01-1	100	501	-16 科学教	育推進に要	要する経費		担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約	31	-2						係名	生涯学習推進係
	III -2	1	3	科学教育	の推進と批	判的思考の	育成	新規・継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	一部委託
個別計画								事業期間	
									04質の高い教育をみんなに
								an a	
根拠法令等								SDGs	

事業の概要

1.71	
対象	児童・生徒、研究機関の研究員
目的	青少年を対象に科学の楽しさや不思議などを体験することにより、楽しみながら科学や理科への興味・関心を高めてもらう。
概要 (取組内容)	市内の各学校、高校、大学、研究機関等がつくばカピオを会場に科学実験等を出展。主に青少年を対象に 科学の楽しさや不思議などを体験してもらい、楽しみながら科学や理科への興味・関心を高めさせるイベントを実施する。令和4年度以降、隔年度の開催とする。

コストの推移

		- 2 1 正 1 / 2						
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	予算額			160	7, 356	0	10, 228	0
事	事 決算額		(千円)	0	0	0	0	0
業費		一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
費	力訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	2,050	5, 319	2, 763	6, 697	2, 763
人		正職員従事割合	(人)	0.30	0.70	0.40	0. 90	0.40
件費	内訳	正職員時間外勤務	(時間)	0.00	225. 75	0.00	198. 00	0.00
月月	F/\	会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	つくば市ホームページ、HP「つくばSTEAMコンパス」での情報周知
企画・立案、計画	市内研究機関や学園等から企画を募る形での参画
実行	市内研究機関や学園等が当日のブース運営を実施
評価、検証	市内研究機関や学園等に対してアンケートを実施

7	71 - 1 H 2						
	指標名	来場者延べ人数			(人	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	17, 000. 0	17, 000. 0	17, 000. 0	17, 000. 0	0.	0 12,000.0
1	実 績	16, 808. 0	0.0	0.0	10, 495. 0	0.	0.0
	指標の 概要	(個別施策Ⅲ-2- 団体者数	①個性を伸ばし未	来を切り拓く力を	育む学校教育の創設	出)来場者数、ア	ンケート数、出展

	指標名				()	
	71.04.11	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
l _	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
4	目標値	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⁵	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
事美	業の成果	と課題					

	年度の課への対応	隔年開催のため令和5年度は実施がない年度であった。
	成果	令和6年度の事業実施に向けて研究機関に参加の意向や実施方法等を調査し、適切な予算措置を行った。
課	業務	
題	組織、予算等	
改善目標		

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性	継続
理由	_
<u>Æ</u> m	

事業の基本情報

7 7 1 7 7 1 7									
事務事業名	842 家庭教育学級支援事業								
予算科目	01-100501-13 家庭教育支援に要する経費							担当部課	教育局生涯学習推進課
市長公約								係名	社会教育係
	III -2	2	3	こどもの	学習支援及	び居場所支	援の実施	新規·継続	継続
戦略プラン								事業分類	自治事務 (任意)
								事業体制	職員のみ
個別計画	つくし	ば市	7生	涯学習推進	基本計画			事業期間	毎年度
									04質の高い教育をみんなに
	特に	なし	,					an a	10人や国の不平等をなくそう
根拠法令等							SDGs		

事業の概要

4 714 1702	
対象	市民
目的	家庭の教育力の向上を図り、子どもの健全な育成に役立てる。
概要 (取組内容)	家庭教育学級、家庭教育セミナー、社会教育講演会の開催。 社会教育指導員(会計年度任用職員)10人を生涯学習推進課に配置し、家庭教育学級の運営にあたり支援・助言を行う。

コストの推移

	· 2 · 1 · 9 / 1 · 1 / 9							
項目				令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
予算額			(千円)	3, 320	3, 300	4, 322	4, 516	4, 516
事	事 決算額		(千円)	1, 231	1, 056	2, 983	0	0
業		一般財源	(千円)	1, 231	1, 056	2, 983	0	0
費	内訳	国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
	II/\	その他	(千円)	0	0	0	0	0
	人件費計		(千円)	6, 834	4, 767	6, 227	4, 835	4, 835
人		正職員従事割合	(人)	1.00	0.70	0.90	0.70	0.70
件費		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	4. 50	0.00	0.00
月月	п/\	会計年度任用職員有無	(-)	有	 有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

7 / 1	1, - 1 H									
	指標名	家庭教育学級参加	R 庭教育学級参加者数 (人)							
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度			
	目標値	20, 500. 0	20, 500. 0	10, 500. 0	10, 500. 0	5, 000. 0	5, 000. 0			
1	実 績	10, 441. 0	3, 078. 0	10, 139. 0	4, 189. 0	4, 271. 0	0.0			
	指標の 概要	乳児・幼児、市立 育学級参加者数(庭教育学級及び企業 、実績に基づく目標				

	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
3	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
$\begin{vmatrix} 4 \end{vmatrix}$	目標値	0.0	0.0	0. 0	0.0	0.0	0.0
4	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						
	指標名				(()	
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
5	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の 概要						

3.7	~ * > 17/A/1 C	
	年度の課 への対応	家庭教育学級のチラシを各交流センターや保健センターに配布するとともに、企業等へ出向き企業向けの家庭教育学級を行い認知度を向上させた。
	成果	社会教育指導員のサポートの下、全ての学校において家庭教育学級を開級することができた。また、企業へ出向き、働きながらも参加しやすいよう昼休み等時間を利用し講座を行い、あわせて個別の子育てに関する相談業務も行った。
課	業務	家庭教育学級に対する関心意欲の低下
題	組織、予算等	自主企画、自主運営を前提とした家庭教育学級の在り方を、働く保護者が多い昨今の社会背景を踏まえた企画に再構築する必要がある。
改善目標		保護者が気軽に参加でき、子育てに関する悩みや不安を軽減できるような講座を開催する。

評価

H 1 111111		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

77 1.317	
方向性	継続
理由	